

マンション内装に無垢材を使用した三浦様邸を訪問  
- 住んでみて三浦様の感想は -

調査者：(財)日本住宅・木材技術センター  
研究開発部 長谷川雅之

## - 目次 -

1. 物件の概要	P3
2. 無垢材等の自然素材の内装仕様	P4
3. マンション内装に無垢材等の自然素材を、と思い立ったきっかけ	P5
4. 無垢材等の自然素材を使った内装工事についての経緯	P6
5. 自然素材を使った効果については	P7
6. 無垢の内装材にして良かった点	P8
7. スギフローリングのお手入れ方法	P9
8. 内装に掛かった費用について	P10

## 【物件の概要】

つくば市内の分譲マンションの4階の南向きの角部屋。

広さ100m<sup>2</sup>の4LDK、床下地は二重床仕様。

マンション入居時期：平成19年6月

玄関～廊下（スギフローリング、腰壁、漆喰壁）



## 【無垢材等の自然素材の内装仕様】

床・腰壁に国産のスギ無垢材を使用し、内部表面積の約 3 / 7 を占めている。スギフローリングは、標準建具との取り合いを考えて可能な最大厚さ 30mm のものを選定。腰壁より上（天井を含む）はしゅくいを塗る。

また、ドア枠など一部建具については、コスト的な問題や面積的にも少ないことから標準仕様の新建材。（表面はプラスチックの化粧シートで合板をラッピングしてあるので芯材が呼吸できない状態。）

各居室（スギフローリング、腰壁、漆喰壁）



天井も漆喰



## 【マンション内装に無垢材等の自然素材を、と思い立ったきっかけ】

このマンションに入居する以前は、筑波研究学園都市内の築31年の公務員宿舎で生活。宿舎での生活は、室内の気温の変動が大きく湿度も多く、カビがひどい状態であった。

その間に、奥様はアレルギー性の気管支ぜんそくを発症し、手足のしびれや吐き気、腹痛で、2度に渡り入院、最近も2006年5月から2007年5月の約1年間、入院生活を送っていた。

そういった状態の奥様のご病気をなんとかしたいとの一念で、ご主人が内装に無垢木材やしっくいなどの身体によいと思われる自然素材を使用しようと決意された。

## 【無垢材等の自然素材を使った内装工事についての経緯】

内装工事に入る前の状態（石膏ボードが見える状態）で引き渡しを行い、入居を2ヶ月半遅らせて、自然素材（スギ無垢材、しっくい）を使った内装工事を行う。無垢内装材を使用することは知り合いの建築士の方から奨められディベロッパーに要望していたが、具体的な提案がなく半分あきらめかけていた。そのような折に、たまたまネット検索で知った、埼玉県の木材会社を営むKさんにメールで相談した。Kさんは、マンションに無垢内装材を使用することは可能ではあるが、工事スケジュール管理等色々な問題を生じるので、マンションディベロッパーに内装仕様の変更を行うのは容易ではない、なかなか大変ですよ、との返事。しかし、何十回ものメールのやりとりを行い、Kさんと建築士さんに相談しながら実現していった。その裏には、お二人のボランティア的な協力はもちろんのこと、ディベロッパー販売担当者の理解と協力を得られたことが非常に大きかった。

## 自然素材を使った効果については

床・腰壁に使用しているスギ無垢材と、壁・天井に塗られた漆喰には調湿機能があり、室内湿度を安定させるので、カビの発生を抑えることができる。花粉の飛散する時期は窓を閉め切ることが多いが、この調湿機能はよいと思った。ちなみに、三浦さん宅の場合のしっくい分を除いてスギ無垢材だけでも、ビール瓶70本程の水分を吸い込んだり放出したりできることになる（有馬孝禮 編著：『木材は環境と健康を守る』の中で、12cm角のスギの柱1本でビール瓶3.3本分の水分を含むことができ、そのうち0.5～1本分を出し入れして湿度を調節すると言われている、を参考にして算出）。

## 【無垢の内装材にして良かった点】

冬、暖かいと、開口一番に言われた。公務員宿舎では0度近くまで室内温度が下がることがあったが、現在は、朝、活動し始める前にエアコンを入れること数回のみ。あとはこたつ程度で十分である。こういった暖房機の使用状況にもかかわらず、冬一番の寒い日でも、室内温度が10度を下回ることはない。就寝時の掛けぶとんについても、現在厚手のものは使用しなくても十分である。サッシがペアガラスということも影響しているかもしれないが、スギの無垢材の床は冷たい感触がなく、それだけで暖かい感じがする。

夏も、気持ちがいい。床はさらっとした感じ、壁もひんやりした感じでいい。

毎日、風呂上がりにもスギ無垢材の内装にして本当によかったと思う。多少不安を感じつつ、キッチンから洗面脱衣所トイレまで水回りもすべて無垢材の床を張ったのだが、こんなに気持ちが良いとは想像できなかった。風呂上がりに踏む、乾いてさっぱりした床の感触は、たとえようのないほど心地良い。

## 【スギフローリングのお手入れ方法】

スギフローリングについては、施工時に未晒しの蜜蝋ワックスを塗って1年が経過。日常的には、水拭きを週1回、あと汚れた時に直ぐにふき取るようにしている。ワックスを塗りたいのだが、べたべたして乾くまで生活できないのも困るので、その後ワックスがけはしていないとのことであった。

### 木材会社を営むKさんからの助言

ワックスは定期的に塗り、塗る際には出来るだけ薄く塗るのがポイント。塗る周期については、水廻りの床は1年、その他は2～3年が目安であるが、使用頻度によっても異なるため、霧吹きで水玉ができなくなった頃を目安とするとよいとのことであった。また、へこみについては、アイロンのスチーム機能を使う（スチーム機能のないアイロンの場合は、濡れタオルの上からアイロンを当てる）ことで、へこみの程度が軽くなるそうです。

## 【内装に掛かった費用について】

今回の三浦さん宅は物件価格の1～2割高とのお話であるが、今後、ビニルクロス壁紙や木目プラスチックシート等の石油製品は価格上昇傾向にあり、自然素材を内装に使用した場合とのコスト差も少なくなっていくとKさんも述べられていた。